

1.  $\mathbb{E}^4$  における以下の 2 点  $P, Q$  間のユークリッド距離を計算せよ.

(a)  $P = (1, -2, 3, 4), Q = (4, 0, -1, 2)$

(b)  $P = (2, -3, 1, 0), Q = (-2, 1, 0, 3)$

2. マックス距離関数  $d_\infty : \mathbb{R}^n \times \mathbb{R}^n \rightarrow \mathbb{R}$  を

$$d_\infty(\mathbf{x}, \mathbf{y}) = \max_{1 \leq i \leq n} \{|x_i - y_i|\} \quad (\mathbf{x} = (x_1, \dots, x_n), \mathbf{y} = (y_1, \dots, y_n))$$

と定める. ただし,  $\max_{1 \leq i \leq n} \{a_i\}$  は集合  $\{a_1, \dots, a_n\}$  の中で最大の要素を表す記号である. このとき  $d_\infty$  は  $\mathbb{R}^n$  上の距離関数であることを示せ.

3. 次のように定められた関数  $d: \mathbb{R}^2 \times \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$  は全て  $\mathbb{R}^2$  上の距離関数ではない. それぞれの  $d$  について反例を挙げよ. ただし,  $\mathbf{x} = (x_1, x_2), \mathbf{y} = (y_1, y_2) \in \mathbb{R}^2$  とする.

(a)  $d(\mathbf{x}, \mathbf{y}) = (x_1 - y_1)^3 + (x_2 - y_2)^3$ .

(b)  $d(\mathbf{x}, \mathbf{y}) = \min\{|x_1 - y_1|, |x_2 - y_2|\}$ .

4. 以下の問いに答えよ.

(a) 実数列  $\{a_n\}_{n \geq 1}$  が  $\alpha \in \mathbb{R}$  に収束することの  $\varepsilon$ - $N$  論法に基づく定義を答えよ.

(b)  $a_n = \frac{3}{n^2}$  ( $n \geq 1$ ) で定義される数列  $\{a_n\}_{n \geq 1}$  を考える.  $\varepsilon = 0.1$  に対して  $|a_n| < \varepsilon$  を満たす  $n$  の条件を答えよ.

(c) (b) で定義した数列  $\{a_n\}_{n \geq 1}$  に対して,  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 0$  を  $\varepsilon$ - $N$  論法に基づき示せ.

5.  $(\mathbb{R}^2, d)$  を距離空間とする. ただし, 距離関数  $d$  はマンハッタン距離関数

$$d: \mathbb{R}^2 \times \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}, (\mathbf{x}, \mathbf{y}) \mapsto \sum_{i=1}^2 |x_i - y_i|$$

とする. このとき  $x_n = (3 - \frac{1}{n}, -2 + \frac{4}{n^2})$  ( $n \geq 1$ ) で定まる点列  $\{x_n\}_{n \geq 1}$  の極限点は  $x = (3, -2)$  であることを示せ.

6. 以下の問いに答えよ.

(a) 関数  $f: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$  が  $x = x_0$  で連続であることの  $\varepsilon$ - $\delta$  論法に基づく定義を答えよ.

(b) 関数  $f: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}, x \mapsto x^2 + 1$  を考える. このとき,  $\varepsilon = 0.1$  に対して

$$|x - 3| < \delta_\varepsilon \implies |f(x) - 10| < \varepsilon$$

を満たす  $\delta_\varepsilon > 0$  の条件を答えよ.

(c) (b) で与えた関数  $f$  が連続写像であることを  $\varepsilon$ - $\delta$  論法に基づき示せ.